

編集後記

緊急事態宣言を受け、5月13日現在、民博でも在宅勤務が続いており、本誌の編集作業はメール上でおこなっている。これまで当たり前と思っていたやり方が問われ、潜在していた課題も浮き彫りになるなど一定の効用はあった。だが、人と会って話せないという前代未聞の事態に隔靴搔痒感がつきまとう。慣れたころにはワクチンが開発され、原発事故がそうだったように何事もなかったかのように元に戻るのだろうか。

本号では「食と博物館展示」という特集を組んだ。食の展示は、百聞一見どころか「百見は一食に如かず」という致命的なハンディを背負う。幸いグローバルな人の移動のおかげで、世界各地のめずらしい料理が日本にいながらにして食べられる時代になった。だが、新型コロナ感染拡大によって、そうした状況が一変するかもしれない。インド・ネパール料理店を営むネパール人の知人は「ノービジネス。今日のランチはお客さん1人」（3月18日、金沢市）とSNSで連絡をくれ、店を手放したいが、こんな時期では買い手も見つからないという。食を介した異なる文化への関心が、せっかく広がってきたところなのだ。飲食店を営む外国人にもわかる簡単な日本語で休業補償の手続きを知らしめてほしい。（南真木人）

●表紙：カザフの定住家屋の室内（中央・北アジア展示、H0275276 ほか）

次号の予告

特集

「みんぱくの写真データベース」（仮）

みんぱくをもっと楽しみたい方のために 国立民族学博物館友の会のご案内

友の会は、みんぱくの活動を支援し、博物館を楽しく積極的に活用するためにつくられました。

毎月『月刊みんぱく』をお届けするほか、さまざまなサービスをご用意しております。

維持会員・正会員

『月刊みんぱく』の送付／友の会機関誌『季刊民族学』の送付／本館展示の無料観覧／特別展観覧料の割引／友の会講演会への参加／研究者同行の国内外研修旅行への参加 など

ミュージアム会員

『月刊みんぱく』の送付／本館展示の無料観覧／特別展観覧料の割引／友の会講演会への参加 など

繰り返し入館できる**みんぱくフリーパス**や、学校・学部単位で利用できる**キャンパスメンバーズ**など各種会員種別もご紹介します。目的にあわせてご利用ください。

詳細は、一般財団法人千里文化財団までお問い合わせください。
(電話 06-6877-8893 / 平日9:00～17:00)



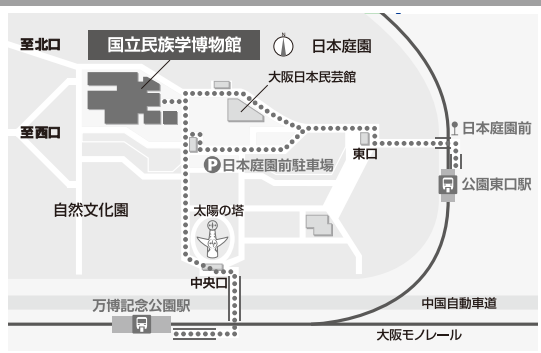
月刊みんぱく 2020年6月号

第44巻第6号通巻第513号 2020年6月1日発行

編集・発行 人間文化研究機構 国立民族学博物館
〒565-8511 大阪府吹田市千里万博公園 10-1
電話 06-6876-2151

発行人 園田直子
編集委員 南真木人（編集長） 上羽陽子 齋藤晃
菅瀬晶子 三島禎子 吉岡乾
デザイン 宮谷一欵 長岡綾子
制作・協力 一般財団法人 千里文化財団
印刷 株式会社 遊文舎

*本誌についてのお問い合わせは国立民族学博物館広報係にお願いします。
*本誌掲載記事の無断転載を禁じます。



交通案内

- 大阪モノレール「万博記念公園駅」・「公園東口駅」下車、徒歩約15分。
- 阪急茨木市駅・JR茨木駅から近鉄バスで「日本庭園前」下車、徒歩約13分。
- 乗用車は、公園内の「日本庭園前駐車場」（有料）から徒歩約5分。「日本庭園前ゲート」横にある当館専用通行口をお通りにください。
- タクシーは、万博記念公園「日本庭園前駐車場」まで乗り入れてきます。

みんぱくホームページ

<https://www.minpaku.ac.jp/>

みんぱくフェイスブック

<https://www.facebook.com/MINPAKU.official>

みんぱくツイッター

<https://twitter.com/MINPAKUofficial>

みんぱくインスタグラム

<https://www.instagram.com/MINPAKUofficial/>

みんぱくYouTube

<https://www.youtube.com/user/MINPAKUofficial>